

津山高専

図書館報

特集

- ①書店街 神田神保町
- ②本の人気ランキング
- ③世界の図書館
- ④図書館オススメの雑誌

津山高専図書館報
製作委員会

先生おすすめの参考書

一般科英語 久保川晴美

即戦ゼミ3

大学入試英語頻繁出題問題総演習

出版社 桐原書店

英語学習を進める上で、とても役立つ構文やイデオムなどが分かりやすく構成されています。左ページに大学入試の過去問からの問題があり、右ページにその使い方を含めた重要な構文・語法などが掲載されています。

英文の読解をする時に単語の意味を調べるだけでは本来の内容が理解できない時、意外な構文や熟語が絡んでいる場合があります。また、英文を作る時にもっとシンプルで上手な表現はないだろうかと思う際、自分の言葉をうまく表現してくれる言い方がある場合があります。そのヒントをくれるのが、このテキストです。大学入試用となっていますが、英語の構文を知るきっかけを与えてくれると思います。

一般科数学 宮野政之

大学・高専生のための解法演習 「基礎数学」

著者 三ッ廣孝 出版社 森北出版

この本は図書館に数冊ありますが、いつも誰かが借りているみたいです。1年生で基礎数学が難しいと感じている学生もかなりいると思われそうですが、その割には基礎数学の参考書は数少ない。その中において上記の本は高専向けの基礎数学のほぼ全分野が載っている。

例題も多く基礎問題や応用問題も多い。解法も詳しく載っています。ところで、一番大切な本は教科書です。始めから参考書を見ないで、どうしてもわからない時に参考書でその箇所を見ることです。「勉強は手でするもの」と言われるように、紙と鉛筆で手を動かして試行錯誤することが実力の基です。松田先生の書かれている「理工学の基礎数学」の参考書は全学年を通しての参考書として良い本と思います。

一般科社会 俣野好治

直木孝次郎 古代を語る2

邪馬台国と卑弥呼

著者 直木孝次郎 出版社 吉川弘文館

『魏志倭人伝』に記されている邪馬台国はどこにあったのか。江戸時代以来、畿内大和説と九州説が対立し、いまだに決着をみない国民的論争である。2010年に入り、古くから卑弥呼の墓ではとされてきた奈良県の箸墓古墳の築造が、卑弥呼が没した3世紀中頃に相当することが明らかにされ、また近年、奈良県の3世紀の纏向遺跡から大型建物跡が発見され、卑弥呼宮殿ではないかといわれて、マスコミを大いににぎわせた。それでは、どうして邪馬台国の所在地が奈良と九州という遠く離れた場所に想定されるのか。本書は、古代史研究の第一人者である著者が、既発表の著書などをまとめた、一般読者向けの邪馬台国と卑弥呼の入門書である。

一般科数学 松田修

おすすめ数学の参考書

おすすめ参考書は、この2月に電気書院から発売になる「ドリルと演習シリーズ 微分積分」、「ドリルと演習シリーズ 線形代数」、「徹底マスター これからスタート!『理工学の基礎数学 演習ノート』」の3冊です。最初の2冊は高専の数学教員33人(横谷、松田他)で作りました。これらは、表に例題があり、裏にそれと同レベルの問題を並べたドリルです。授業の復習に役に立ちます。最後の1冊は、松田が書きました。これは1年生の基礎数学から4年生のフーリエ変換までの基礎的な計算問題を取り上げたものです。基礎レベルの簡単な問題を演習1と演習2で2回反復練習できます。どれもすごく良くできた参考書に仕上がりました。

一般科物理 佐藤誠

おすすめ物理の参考書

物理は苦手という方におすすめは手軽に読める講談社ブルーバックスから、「マンガ物理に強くなる力学は野球よりやさしい」(関口知彦著、鈴木みそ画)。3年生までの物理をざっと概観するなら同じくブルーバックスの「新しい高校物理の教科書」(山本明利著)。物理学の成り立ちに思いを馳せるならこれがお勧め。「物理学はいかにして発見されたか」(R.P. ファイマン著、岩波現代文庫)。

皆さん授業で使う教科書は基本お好きでないでしょうが、意外や意外、検定教科書は大変良くできた読み物でもあります。コンパクトに必要なことがわかりやすく書かれています。自分に合った参考書を探すのも学習の工夫のひとつですが、今一度教科書を最初から終わりまで通しで読み直すのも大いにおすすめです。

一般科社会 角谷英則

「歴史の勉強」ってなにをすること?

「歴史はおぼえる教科だ」とおもっているひとへ。たしかに受験に必要な「歴史」はそのとおりです。しかし、「おぼえること」は、じつは歴史の勉強にとって、どうでもいいことです。「おぼえること」は歴史という教科の目的でも何でもありません。大学受験で歴史が必要となる不幸な高校生たちとちがって、高専生はすぐにでも「本当の歴史の勉強」がはじめられるという幸運な立場にあります。では、本当の勉強とはなにをすることか。それが気になったひとは、ぜひいくつか本をひもといてみてください。たとえば、網野善彦「日本の歴史をよみなおす」(ちくま学芸文庫)。中学校ではあえない歴史がみえてきます。

機械工学科 小西大二郎

理工学基礎シリーズ

機械設計の基礎

著者 小野敏郎 / 楠井 健 出版社 日新出版

機械設計法(機械工学科3, 4年開講)の授業では、「機械の設計」ではなく、機械設計における一般的な考え方や機械で共通に使われる主な機械要素について、要素自身を設計すること、あるいは適したものを選択する手法を取り扱っています。

具体的なあるひとつの機械を設計するには、設計製図・実験実習・力学に関する科目はいうまでもなく、社会科学に関する科目も含めた学習成果や、多くの長年の経験や慣習によって培われてきた知識が必要とされることは皆さんもよく理解していると思います。

このことから、「機械の設計」を学ぼうとするには機械設計法での学習に加え、設計を取り巻く多くの事項を5年間の学習の中で有機的に結びつけておくことが望まれるといえます。例えば、ここで挙げたような図書はそのような横断的な学習の道標になるのではないかと思いますので紹介します。

機械工学科 大野威徳

機械加工

著者 中山一雄 / 上原邦雄 出版社 朝倉書房

本学4年生の講義「機械工作法Ⅱ」で教科書として利用しております。切削・研削に関する教科書には新旧・難易によりさまざま存在しますが、その中でも本書はもっとも基礎的な事項に絞って平易に解説されております。初学者にとって、もっとも入門しやすい教科書です。実習やロボコンなどの部活で機械加工を行う際に加工条件を決める場合がありますが、その際にこの本を参考にされると良いと思います。

機械工学科 大野威徳

切削加工の基本知識

著者 小坂弘道 出版社 日刊工業新聞社

切削抵抗や構成刃先、工具形状など、切削加工に関する基本事項をわかりやすく解説しています。著者は現アルプスツールでエンジニアを、サンドピック社（世界シェア1位の工具メーカー）でセールスを担当されており技術と経営の観点から切削工具の利用・設計に必要なノウハウを丁寧に説明しています。説明を省略している点があり初学者には向きませんが、上記の教科書よりも図を多用しているため切削加工を学習する上で読みやすい参考書としておすすめいたします。

その他、中島・鳴滝両先生の「機械加工学」（コロナ社）、白井・白樫両先生の「現代切削理論」（共立出版）などが有名な教科書ですが、初学者というよりはむしろ専門家向けの内容となっており、ある程度知識を深めてから御覧になることをおすすめいたします。

電気電子工学科 下西二郎

電気回路Ⅰ [基礎・交流編] 電気回路Ⅱ [過渡現象・伝送回路編]

著者 小澤孝夫 出版社 昭晃堂

電気回路の基礎から伝送線路における過渡現象に至るまで、電気回路に関する知識が網羅された電気電子系学生に対するバイブル的参考書といえよう。1978年9月の初版第1刷りから数えて平成21年12月現在、30刷りを数えている。この発行部数からもこの参考書の人気度が知れよう。Ⅰ、Ⅱの2冊に分冊されており、演習を通じて問題への接近法が解説されている。古典理論を中心に、グラフ理論等も解説されており、数多くの例題が解かれていて、理解の助けとなっている。グラフ理論、フーリエ変換、フィルタにも言及している。

電気電子工学科 植月唯夫

なっとくする量子力学

著者 都筑卓司 出版社 講談社

私たちにとって量子力学はあまり縁がなく、非常に難しい学問に思える。なぜなら、量子力学は「自然界を極限まで小さく分割して、分子・原子・電子などの特殊な振る舞いを研究する学問だからである。したがって難解な数式が多く出てくる難しそうな学問である。しかし工学者であるなら何らかの関わりを持つ可能性があることも否定できない。その量子力学を、難解な数式を使用せず、説明しているのがこの本である。この本は、歴史的な視点で量子力学がどのように発展してきたかを説明しながら、物理的なイメージが湧きやすいよう説明を行っている。かなり厚い本(274ページ)だが、物語を読む感じで読み進むことができる。ぜひ一読をおすすめする。

電子制御工学科 湊原哲也

パターン識別

著者 リチャード・デュダ他 翻訳 江尻公一他 出版社 アドコムメディア

誰しもパターン識別という言葉は聞いたことがあると思います。人間はこれをいとも簡単に行うことができますが、これを計算機にやらせることはとても大変です。この本はその分野においてはバイブルとまでされる良書であり、パターン識別について古典的な手法からニューラルネットワーク、独立成分分析など新しい手法も盛り込まれています。普段の講義で何に使われるのかわからないような数式が、こういうところで使えるんだと感動すること間違いなし。

ぜひ一度手にとって読んでみてください。

電子制御工学科 湊原哲也

制御工学の考え方

著者 木村英紀 出版社 講談社

「制御」という言葉はいたるところで聞く言葉の割には地味で本質がつかみにくいように思われます。

私自身、めぐりめぐって制御に関する研究をすることになったとき「制御って、一体なんなんだろう？」と疑問に思うことがしばしばあり、初心に戻るために読んだ本の1冊が「制御工学の考え方」でした。

制御の始まりから最近の話題までとても興味深く書かれてあります。なるほど、これが制御、とくに「制御工学」なんだなと思える1冊です。

少なくとも制御工学を学ぶ学生さんには読んで欲しいと思います。

情報工学科 宮下卓也

解きながら学ぶC言語

著者 柴田望洋他 出版社 ソフトバンククリエイティブ

津山高専に入学して授業で習うC言語の難しさに困っている人はいませんか？情報工学科の多数の学生から、プログラミングを嫌悪しているようなことをよく耳にします。

C言語などのプログラミング言語は、コンピュータと会話するための人工言語です。外国語と同様に文法を理解して上達する方法もあると思いますが、「習うよりも慣れる」の方法もあると思います。

この参考書は、なんと999問も簡単な例題が解説付きで紹介されています。また、章末には穴埋め式の練習問題もありますから、深い学習をすることもできます。

情報工学科 宮下卓也

現代萌衛星図鑑

著者 しきしまふげん 出版社 三オブックス

まじめな図書紹介は他の人にお任せして、こんなものを紹介する人が一人ぐらいいいでしょう！？

政府の行政刷新会議の事業仕分けで「GXロケット」が廃止と判定されたことがニュースで報じられました。また、ネット動画にはまっている人ならば、「はやぶさ」の動画に興味を持ったかもしれません。

そのような初めて宇宙開発事業に興味を持った人にとって、この本はちょっと手を出しにくいかもしれませんが、ちょっとだけ眺めてみてください。日本の技術力、技術魂に感動します。本屋で「オタク向け」本として扱われていると思いますが、中身は立派なものです。たびたび重版していますが、売り切れ続出のようで、入手がちょっと困難かもしれないのが難点です。でも、それだけ売れているのには理由があると思います。ぜひ、どうぞ。

先生おすすめの本

電子制御工学科 桶真一郎

世界でもっとも美しい10の科学実験

著者 ロバート・P・クリース 翻訳 青木薫 出版社 日経BP

皆さんは「フーコーの振り子」を知っていますか？
それは、驚くほど単純な原理・構造で、この地球の自転を目の前に描き出します。

この本には、「フーコーの振り子」を含む10の実験について、さまざまな観点からその「美しさ」が語られています。

偉大な先駆者たちの苦悩や歓喜とともに、科学を学ぶことの楽しさを感じさせてくれる本です。

一般科国語 江原由美子

日本国語大辞典

出版社 小学館

「辞書は引かなくてはならない。でも、辞書の記述を信じてはいけぬ。」

大学に入学した頃の頃、ある先生にそう言われた。その時は矛盾しているように感じて、理解に苦しんだ。しかし、研究の道に進んでからは、そのことばの重みがよく分かるようになった。

辞書の記述は、言うなれば、それまでの研究の集大成だ。だから、それを知る必要がある。でも、その記述が本当に正しいとは限らない。あくまで他者の見解なのだから、鵜呑みにしてはいけぬのだ。

学生の皆さんには、もっと辞書を引いてほしいと思う。そして、自分の専門分野に関しては、その記述にツツコミを入れられるぐらいになってほしい。

ちなみに、冒頭の先生は、現在の私の師匠である。辞書は出会いをも演出してくれる。

電子制御工学科 小林敏郎

千慮の一得私のやぶにらみ人生

著者 奥本泰久 出版社 文芸社

該博な知識と豊富な人生体験に裏打ちされた、ユーモアとウイット溢れる言葉の宝庫！

現代の高齢化社会の悲劇は、医学の進歩と経済の発展で人の"肉体寿命"を延ばしたが、人の"生き甲斐寿命"を延ばさなかったことである。

……老人が必要とされる社会を！

図書館司書 藤原智孝

関ヶ原

著者 司馬遼太郎 出版社 新潮社

僕は司馬遼太郎が大好きなのですが、数ある名作の中でも、何度読んでも味わい深い一作を推しておきます。豊臣の体制を守るために身を削るようにして家康に対抗する石田三成、体制そのものをひっくり返さんとする老獪な徳川家康、両者の駆け引きに目が離せなくなります。名分論・道義論で周囲を従えようとする三成に対し、圧倒的な財力と兵力（家康は当時関東八州250万石の巨大大名）、それに戦国以来の歴戦の威光を背景に、着実に環境を自分に有利に変えていく家康と、この二人から得るところは多いと思います。どちらも傑出した人物であることには違いありません。読んで面白く、自分自身の身の処し方の参考にもなる名作だと思います。

図書委員会の活動

ブックハンティング

ブックハンティングは図書館に新しく並べるための本を書店に出向いて探していくものです。今年のブックハンティングは、岡山の丸善など2ヶ所に行きました。丸善に行ったときは、本がとて多くどこから見て回ればいいのか困りました。自分が欲しかった本が結構あったのでよかったです。選んだ本が多くて予算内に収めるのに苦労しました。

ブックハンティングに行って、やっぱり自分で選んだ本が図書館に並ぶというのはおもしろいことだと思いました。リストアップするのは大変でしたが、皆さんに興味を持ってもらえる本を多数揃えたので、ぜひ図書館へ足を運んでください。



読書会

毎年恒例となった読書会。毎年、参加者の少なさに苦しんでいると聞いてはいましたが、今年7月に行われた読書会では、なんと参加者0人という悲惨な結果になってしまいました。何かモノを企画するという難しさを改めて思い知らされました。

ですが、今年はあらかじめ小さな看板に、本の紹介文を書いてもらっていました。この看板と紹介されている本を、テーブルの上に置くことで、読書会の後もおすすめの本がわかったのではないかと思います。

来年からは何か新しい方法を考えていかないと、読書会も消えてしまうかもしれません。

古本市

図書委員会では、弥生祭にて毎年恒例の行事、古本市を開催しました。

古本市に携わったのは今回が初めてだったのですが、体力皆無の図書委員（しかもたった3人）のする仕事ではないと感じました。場所が3階の一番奥の教室ということもあり準備と片付けがなんちゅうこっちゃ！でした。

しかし努力の甲斐あって、へんぴな場所で開催していたにもかかわらず沢山のお客さんが来てくださり、結構な売り上げになりました。数学の本を数冊買っていく人や、漫画を全巻大人買いする人もいましたが、やはり「難しい本が多い」といった声もいくらか聞かれました。

古本の提供を快く承諾してくださった先生方、ご協力ありがとうございました。来年の古本市もぜひよろしく願います。

校内読書感想文コンクール

1位 多面性

1年2組 田淵 皐

どれほどの人間が、「自分は一度も、自分を偽ったことがない。」と言いきることができるでしょうか。

私は太宰治の『人間失格』を読んで、自分と周りについて考えました。主人公は、自分を道化といい、いつも周りの反応を気にしていました。自分が周りの人間社会に溶け込むために、自分の本心とは別のキャラクターを創っています。これは、いまの私たちにも言えることではないでしょうか。

親でも兄弟でも親友でも、自分の全てを吐露することはできない。また、相手に嫌われないように、仲間はずれにされないように、生きるために、自分のキャラクターを創る。友人には、話の分かる気楽な人、親には良い子、先生には優等生、上司には、使える人間を、部下には頼れる人。人それぞれ、相手に合わせてあるていど自分を創っているとおもいます。

人間失格は、人間の本質のようなものを表しているように思います。話の中で竹一という人物に主人公の虚像を見破られ、ひどく動揺するというものがありました。自分の本当を知られると、他人と自分の違いを見つけられ、相手にされなくなると感じるからです。人は一人で生きていけません。どれほど、人が嫌いだと言っても一人でいることに不安を覚えるのです。作中でも、主人公が一人で下宿することに怯えています。私も、自分一人で行動していると、今、自分のしていることはあっているのか、おかしくないかと思うことがあります。そう考えると本当に自分は他人に依存して生きています。

もし、地球上に自分しか存在しなければ、きっと私は発狂するでしょう。それほど人との関わりは大切なものなのです。この話の主人公も、自分は人間ではないのではないかと思いつつも、人間に溶け込もうとしています。それは、誰しもが自然のしていることにとただ単に疑問をもち、深く考えすぎただけではないでしょうか。だからこそ、主人公は一人でいることに恐怖を感じていたと思いました。

いくら表面を偽っていても、自分自身の本心があります。それは偽ることはできません。だから、理解して欲しいと思うことも、誰かに傍にいて欲しいと感じることもあると思います。そうであるからこそ、嫌われないように自分を創りだすのです。

主人公は自分を演じることで、自分を創っていました。自分を嘘で塗り固めることで、自分という存在を守っていたのです。それは皆が普通にしていることですが、とても悲しいことだと思います。自分の全てを誰でも良いから分かってもらえたら嬉しいでしょう。ですが、現実的にそんな人に会うことは難しいと思います。だから、趣味の合う人、気の合う人に会おうと嬉しく感じるのでしょう。

この人間失格は題名とは相反して、人間の本質が書かれた本だと感じました。この主人公が思っていること、考えていることは誰しもが少なからず感じていることなのではないでしょうか。私たちは、生まれてから死ぬまで多くの人と知り合い関わります。その無数の人の中から、自分を理解して本当を見てくれる人を見つけるのは奇跡に近いものだと思います。だから、私はこの話を読んで自分と周りについて考えたのです。周りに人がいることは、とても幸せなことです。どれほど自分を創っても、本心を偽ることは出来ないのです。でも、一人でいることは怖い。だから、主人公は自分を偽ってでも、人間社会に溶け込もうとしたのだと思いました。

2位 パンドラの匣を読んで

1年1組 仁木裕美

「君、思い違いしちゃいけない。僕らは、ちっとも、しょげてはいないので。」この物語の始まりはこのような話し言葉で始まります。この物語の主人公ひばりは、「健康道場」という結核療養所で過ごす結核病患者である。そのひばりが親友に宛てて書いた手紙がこの物語の内容である。手紙形式で書かれたこの本は最初こそは読みにくさを感じたが、慣れると親友に話しかけるような形の言葉のすべてが自分に語りかけられているように思え、より親身になって読むことができた。しかもその手紙の内容はひばりと一緒に療養所で過ごす人々のことだった。

ひばりの過ごす健康道場には医者なんていなかった。医者があると、ここは病院なんだという観念を捨てきれない。その観念を捨てさせるために健康道場では、院長のことを場長と呼び、副院長以下のお医者さんは指導員、看護婦さんたちのことは助手、入院患者たちは塾生と呼ばれていた。ひばりと特に接点があるのがひばりと同室の塾生と数人の助手であった。そんな人達との日々おこる出来事をたまに愚痴をこぼしながらもひばりは友人に伝えていたのである。

また健康道場では独特のあいさつが使われていた。

「やっとなるか。」

「やっとなるぞ。」

「がんばれよ。」

「よし来た。」

塾生と助手の間ではたびたびこの問答のようなあいさつが行われていた。私はこのあいさつにどんな意味があるのかはわからない。考えてみても実際に言われる立場にならないとわからないと思う。しかし、このあいさつを声に出して読んでみると非常に元気がでるのである。言葉の意味は前向きになれるようなものだが、それ以上に読み上げるととてもリズムカルなのがわかる。健康道場はあいさつまでにも気を使っていたのである。

そんな健康道場では過ごしている人々はみんなにあだ名がつけられていた。もちろん主人公のひばりというのあだ名であり、本名は小柴利助という名である。このあだ名は助手たちにもつけられており、みんながあだ名で呼び合っていた。このあだ名で呼び合うことも、親しみを感じるようにするための健康道場の工夫だったのかもしれない。

この物語には病弱な結核病患者なんてどこにも書かれていない。ひばりを含めた塾生も助手もみんな楽しそうに過ごしていた。普通に生活をおくっている人のように、恋をして友達を作って。最近の小説には病氣と一生懸命闘っている主人公が書かれているものも多いが、それとは真逆の明るい感じがこの作品からは伝わってきた。「病気を忘るといことが、全快の早道だ」と話の中で出てきたのだが、本当にその通りだと思った。

3位 吉本ばなな作「キッチン」を読んで

1年3組 倉持風夏

まず、一文目の「私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思う。」という部分で、早くも私は主人公みかげに共感した。綺麗なワケでも華々しいワケでもない場所、日常の中で当たり前のようにある、平凡な場所。私もそんな場所が好きだから、みかげの「台所が好き」という気持ちが、なんとなくわかる気がする。どこか庶民的で、頭にそのときの光景が浮かんでくるところ

も、読みやすかったので良かった。

話の展開がいきなり、みかげの祖母の死へと動いたので、少し気持ちが沈んだが、やっぱり人の死を悲しむ気持ちは、誰でも同じように持っているものなんだと、この本を読んだことで、あらためて再確認できた。

物語の流れは、何となく恋とか愛の方向に寄っている気もするけど、全体的には「家族」について、その

重さだとか、大切さだとかを中心として、まとまっていると思う。

みかげの、ふとした瞬間、何気ない日常のひとつ欠片を懐かしく感じる部分や、自分の存在に対する疑問を感じたりする部分に共感できた。もし、人間に感情が無かったら、こんな気持ちを感じる事さえ出来ないと思うと、これから生まれる新しい感情を大切にしようと思えた。

次に、「キッチン」というタイトルの意味を考えてみた。始め、一文に「私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思う。」と書かれている。だから、キッチン＝この世で一番好きな場所。また、家族が一人、また一人といなくなる度に主人公の孤独は増し、ついには祖母がいなくなり、一人になったとき、主人公は「今まで自分の居場所だったところが現実味をなくし、どんどん死んでいくような気がした。」というようなこと

を思っている。なので、「この世で一番好きな場所」とは自分の居場所のことだと思う。最後の方の文を読んで、もう一度意味を考えて整理してみると、これから先、みかげが自分の居場所をいろんな場所にたくさん持つだろうという、みかげの明るい未来への展望を意味しているんだと思った。

人間は人生の中で、数え切れないほどたくさんのごことを経験して、ときにはくじけそうになったり、どうしようもなく立ち尽くしたりもするけど、それでも倒れそうになる人と手をつないで、支えあって生きているんだと思った。「生きる」ことって、何よりも大変なことだけど、他の何よりも大切なものなのかも知れないと思わせてくれる作品だった。この本を読んで良かった。

学生の詩・短歌・俳句

今年は1年生の校外学習の一環として晴居彗星氏による詩の講演会に参加しました。講演会后、学生がステージ上で自作の詩を披露し、晴居氏により優秀者2名が選ばれました。今回は例年の国語科の短歌俳句優秀作品と共にこの2名の詩も載せたいと思います。

手

一年四組（機械工学科）

赤崎里奈

母さんの手は赤ぎれだらけ
私たちのために洗たくや家事を
してくれているから

父さんの手は乾燥してぼろぼろ
毎日毎日、消毒液に手をつけて
私たちのために仕事をしてしてく
れているから
ばあちゃんの手はまっくろけ
私たちのために畑しごとを
してくれているから

じいちゃんの手はだれよりも
あたたかい
いつも私たちに笑顔を
くれるから

誰かのために働く手に
私のこの手もなれる
だろうか

NOTE

一年二組(情報工学科)

高田駿

1人に1つ持っている。

それはノート。

無限のページがあるノート。

それはいつでも見返せて

自分を確認できる。

1日1ページ好きなものを描く。

1日が終わるとページをめくる。

パラッ・・・

パラッ・・・

こうして描かれたページ。

どのくらいになるかな？

積み上げられた自分の歴史

見つめ直せば見えてくるもの

あるかもしれない

たまにはちよつと立ち止まって

「自分」を確認してみよう。

何か違うものが見えるかもしれない。

短歌

いさかたの輝く夏日暑さかな 涼を求めて木陰を目指す

(M2 中岡聖仁)

夏の海白い浜辺に続いてる 交わるように二つの足跡

(M2 浅山恵寿)

夏休み課題終えるの後回し これではまるで投げ出し政治

(M2 小野照太)

大会後まだまだ動く俺の足 この悔しさを力にかえて

(M2 山平 誠)

おかしいと声を上げども掻き消され 記者会見に沈む真実

(S2 平山雅士)

千円につられてのった高速道路 思いはいっしょ大法滞

(C2 勝矢雅之)

知らぬ間に積もり積もった電話代 かかる電話に母鬼の面

(C2 藤田千穂)

俳句

空気読め！蚊の鳴き声と熱帯夜

(M2 坂 卓也)

夏の空晴れても降ってる蝉時雨

(M2 藤井勇人)

朝顔もゲリラ豪雨にうなだれる

(S2 西本有里)

虫の音は母をも超える子守歌

(S2 松尾保利)

生きている証を灯す堂たら

(C2 谷口知弘)

書店街 神田神保町

神田神保町をご存じでしょうか？

神保町は東京都千代田区神田にある地名です。この近くにはニコライ堂や神田明神があり、訪れた方も多いと思います。

神保町とその周辺には明治大学や日本大学など多数の大学が集まっており、古くから学生街を形成していました。

明治10年代に相次いで創立された法律学校（現専修大学、中央大学など）の学生のために法律関係の本を扱った新刊書店・古書店が次々とできていったのがその始まりだと言われています。

現在、神保町には約90軒の新刊書店、約110軒の古書店があり、これらによって世界最大規模の書店街が成り立っています。神保町最大の書店は三省堂書店神田本店でランドマーク的な存在ですが、



しかしその他の多くは三省堂のような総合書店ではなく、それぞれの書店で特定のジャンルを扱う専門書店です。その1軒1軒が哲学・理工学・文学・文庫・雑誌・絵本etc・・・のみを扱うので絶版になった本から洋書まで手にすることができます。

実際に入った工学専門の書店ではかなり専門性の高い本まで置いてありました。

神保町にある書店は皆北向きをしており、本が日光で焼けないようになっています。風が吹けば本のかおりが通りに立ちこめます。

神保町は書店街であると同時に出版社も多く集まっており、岩波書店、集英社、小学館などもここにあります。過去の文豪から現代の文豪、新人作家から敏腕編集者までここへ通いました。そんな地を訪れてみるのもどうでしょうか？

写真は早朝に撮ったものなので、まだ店が開店していませんが、昼になると多くの人で賑わいます。

「神田付近」にはお茶の水楽器店街やスポーツ店街、秋葉原電気店街などもあるので、東京に行った際には一度神田を訪れてみてはいかがでしょうか。



本の人気 ランキング TOP10!!!

平成22年1月第4週

新書

- 1位 脳に悪い7つの習慣 林成之著 幻冬舎
- 2位 日本辺境論 内田樹著 新潮社
- 3位 富士急行の女性客 西村京太郎著 光文社
- 4位 十津川警部 あの日、東海道で 西村京太郎著 実業之日本社
- 5位 ルポ 貧困大国アメリカ2 堤未果著 岩波書店
- 6位 しがみつかない生き方「ふつうの幸せ」を手に入れる10のルール 香山リカ著 幻冬舎
- 7位 岐阜羽島駅25時 西村京太郎著 新潮社
- 8位 世界を知る力 寺島実郎著 PHP研究所
- 9位 怒る企画術! 吉田正樹著 ベストセラーズ
- 10位 魔女の盟約 大沢在昌著 光文社

文庫

- 1位 イノセント・ゲリラの祝祭 上[文庫版] 海堂尊著 宝島社
- 2位 イノセント・ゲリラの祝祭 下[文庫版] 海堂尊著 宝島社
- 3位 サヨナライツカ 辻仁成 幻冬舎
- 4位 ゼロの使い魔 滅亡の精霊石 ヤマグチノボル著 メディアファクトリー
- 5位 大伝説の勇者の伝説 鏡貴也著 富士見書房
- 6位 居眠り磐音 江戸双紙 更衣ノ鷹 下 佐伯泰英著 双葉社
- 7位 ガラスの仮面 美内すずえ著 白泉社
- 8位 居眠り磐音 江戸双紙 更衣ノ鷹 上 佐伯泰英著 双葉社
- 9位 天地無用! GXP6 真・天地無用 梶島正樹著 富士見書房
- 10位 食堂かたつむり 小糸川著 ポプラ社

コミック

- 1位 天上天下 大暮維人著 集英社
- 2位 バガボンド 井上雄彦画 講談社
- 3位 君に届け 椎名軽穂著 集英社
- 4位 FAIRY TAIL 真島ヒロ著 講談社
- 5位 ハヤテのごとく! 畑健二郎著 小学館
- 6位 GIANT KILLING ツジトモ著 講談社
- 7位 ダイヤのA 寺嶋裕二著 講談社
- 8位 闇の末裔 松下容子著 白泉社
- 9位 神のみぞ知るセカイ 若木民喜著 小学館
- 10位 NARUTO—ナルト— 岸本斉史著 集英社

文教堂 週間ランキングより

～世界の図書館～

このページでは世界中に存在する図書館について紹介します。

世界中の図書館は日本と違い、国によって独特な建物や内装が施されています。そこで、数多くある海外の図書館の中から「珍しい」、「世界最大」などと独自で選びピックアップしてみました。

大英博物館図書室 (British Museum Reading Room)



←ここは世界最大の博物館のひとつである、イギリスに建設された大英博物館の敷地の中央部、中庭内にある図書閲覧室です。建設当初は博物館の中央閲覧室として使用されていましたが、数十年後からは大英図書館の中央閲覧室として使用されていたようです。現在は別の場所に新館が建設されたものの、全ての人に一般公開されています。

建物の形状はドーム状となっていて、写真で見られるように側面一面に書物が陳列されていて中央部分が閲覧室となっています。

歴史も古く 1857 年に建設され、ロンドン留学中の夏目漱石も通っていたそうです。また博物館と図書館を併設するという発想は、文部省博物館の書籍館のモデルでもあるそうです。

→次に紹介するのはアメリカ合衆国の首都ワシントン D.C に建設されたアメリカの国立図書館で、その蔵書数や予算額、職員数など全ての点において世界最大規模を誇る図書館です。

内部構造は写真に見られるようにドーム状で、大英博物館図書室のように中央に閲覧室、周りに書物が陳列されています。内部の造型はとても立派で芸術ともいえます。

歴史は大英博物館図書室よりも古く、1800 年に建設されました。日本の国立国会図書館は、このアメリカ議会図書館をモデルとして建設されています。

国内の文献はもちろん、国外の文献も多く収集されていて、所蔵される図書は 400 言語以上にも達します。他の図書館には存在しない貴重な所蔵品も多く所有されてもいます。アメリカへ行った際は、一度は行きたい場所です。

アメリカ議会図書館 (Library of Congress)



本来ならもっと多くの図書館を紹介したいところですが、ページ制限のため紹介はここまでとなります。ですが、ぜひ見て欲しい、調べて欲しい図書館はまだあります。それらを少しだけ紹介します。

まずはベラルーシの国立図書館。この図書館は建物の形状が球状となっており、その側面にはたくさんの電球をつけていて、とても近未来的デザインの図書館です。またポルトガルのコインブラ大学の敷地内に建設されている図書館は中世ヨーロッパ的なデザインとなっていて歴史も古く、貴重な蔵書が多く存在する図書館です。

もしこれらの図書館や他にどのような図書館があるか気になる方はぜひインターネットなどで調べてみてください。おもしろいと思いますよ。

(画像提供：http://www.oddee.com/item_96527.aspx)

図書館オススの雑誌

このページは図書館に置いてあるオススの雑誌、専門的な知識がのっている雑誌、興味をひきそうな雑誌、これらの一部を紹介しています。

◆ Number

サッカーや野球などのスポーツの情報を掲載するスポーツジャーナル。監督の思う強いチームのつくり方、強いチームの条件や対戦国の研究やその対策、選手の経歴などが掲載されており、個人競技・団体競技の両方の最近の新しい情報などがのっていて、リージュやカーリングなどの季節のスポーツや、年によってはオリンピックやワールドカップに対する意気込みや、対戦国の研究、対策なども掲載されている。

◆ Newton

宇宙、太陽光での発電、音・光・地震波などの波、脳や遺伝のしくみ、などなどの情報をのせた、GRAPHIC SCIENCE MAGAZINE。これは「遺伝のしくみ」、「波のサイエンス」、「宇宙からの地球観測」、ほかにもあるが、このような理科系のことを一冊一冊細かく書いてあり、一冊の量も充分にあるので、知りたいこと、興味があることなどを調べてみるとくわしく知ることができる。

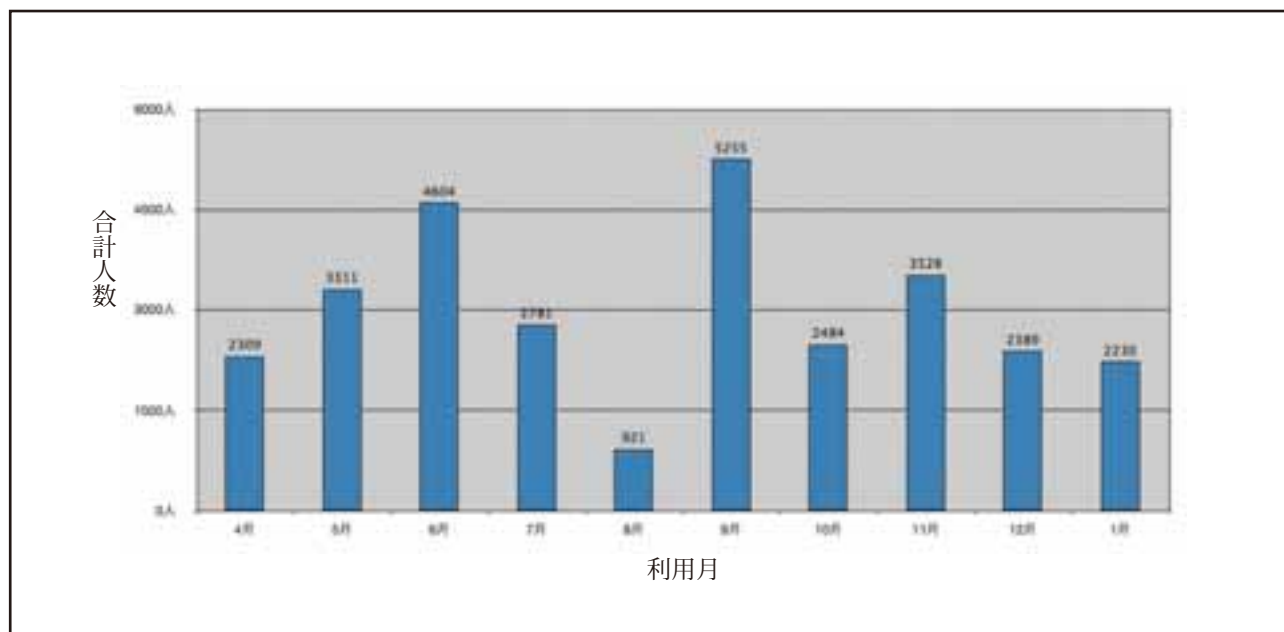
◆ Newsweek

地震などの大きな天災、世界の政治状況や情報などのニュースを掲載する雑誌。地震などの天災が起こったとき、その被害や、世界のそのことに対する対応、アメリカや中国などの世界の政治の状況や、今後の方針、時には世界のテロ戦争やテロ対策の情報ものっている。

◆ Motor Fan

“クルマの美しさの流儀”や“レーシングカーのテクノロジー”に、“最新自動車技術”などのクルマのテクノロジーやデザインを掲載している雑誌。この雑誌には多くの種類のクルマやクルマの各部品などのデザインものっており、細部の最新テクノロジーのことも多く掲載されている。クルマの各部の構造や形などの効果や特徴も細かくかかれていて、未来のクルマのデザインや、特徴なども掲載されており、目的などもかかげられている。

平成21年度図書館利用状況



図書館の開館時間と貸出冊数及び貸出期間について

開館時間	平日	8:30～21:00 (夏季・冬季・学年末の休業日の場合は8:30～17:00)
	土曜日	13:00～17:00 (夏季・冬季・学年末の休業日は閉館)
	定期試験の直前・試験期間中の日曜日及び国民の祝日	13:00～21:00
閉館日	国民の祝日に関する法律に規定する休日、日曜日及び年末年始 (必要あるときは変更することがある)	
貸出冊数	学生	5冊まで2週間(卒業研究で必要とする場合は別に5冊を1ヶ月まで)
	教職員	5冊まで1ヶ月

編集後記

今年は例年の内容に加え、新しい記事も多く取り入れてみました。今年はルポの形式で委員会のメンバーが、一人1ページずつを担当して執筆してみました。いつもよりもタメになる図書館報であったら嬉しいです。

忙しい中、原稿を書いてくださった先生・職員の方々、ありがとうございました。作品の掲載を了承いただいた学生の皆さんをはじめ、この図書館報の製作にかかわってくださった方全員に感謝します。